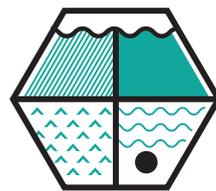


Airbnb から始まったインバウンドの扉



よどえのやど 今津田中家 瓦版

第22号

2025.01 発行

11月22日〜25日まで、東京在住の帰国子女エリー(平野恵理)さん、台湾人ウエイ(黄介韋)さん、フンジェウエイ)さんご夫妻が、淀江の宿今津田中家に滞在、23日からは、エリーさんがスペインの高校に通われていたときにホームステイ先だったスペイン人ご家族4名(ホセリスさん、ベゴニヤさん、ハビエルさん、アナさん)、エリーさんのお友達でアメリカ在住のコロナビア人とそのお友達(ヴィヴィさん、シンシアさん)も加わり、とても仲の良い8名の方と一緒に楽しい交流をしました。

エリーさんは、幼少期からの海外暮らしが長く、英語・スペイン語が堪能で、海外に多くのお友達を持つ、とても優秀でチャームिंगな女性で、今回は彼女の誕生日に合わせてお祝いも兼ねて、皆さんが来日されたというのでした。エリーさんとのご縁で、素敵な皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。

エリーさんとの出会い

エリーさんウエイさんご夫妻が淀江の宿今津田中家に滞在されるのは今回が3回目です。

2020年11月に母屋の簡易宿所の許可を取得し、2021年3月に宿のホームページを完成させると同時に、Airbnb(エアビーアンドビー、略称「エアビー」)に宿登録をしました。アメリカ企業が運営する「エアビー」は、様々な国や地域で短期・長期のホームステイや体験を提供するオンラインマーケットプレイスで、宿のオーナーである私洋子も海外の旅で活用しています。

「サステナブルな暮らし体験」というフレーズに共感してくださったエリーさんご夫妻はGWに4泊5日滞在、一緒に農作物を植え、買い物に行き、山中さん収穫の貝なども使ったBBQをし、またご夫妻で自転車や車を使って近隣周遊され、その後もオンラインなどで交流。

2022年10月の2回目の滞在中は、はでかけや手刈りの稲刈りなどにチャレンジ。私が東京に行った時にも会うなど交流を続けてきました。



はで掛けをするエリーさんウエイさんご夫妻

酒蔵見学からの大正蔵

今回の旅程は事前にエリーさんと相談して、23日は千代むすび(境港)で酒蔵工場見学を予約。現在の酒造りに触れ、試飲をしました。

夜は「淀江いどりりタイアリー」の企画「旧酒蔵でお食事会 in Gallery a 大正蔵」に参加。南米アンデス地方の音楽「フォルクローレ」の演奏を聴きながら、「淀江となり組」(メキシコからUターンした大正蔵オーナーの奈津子さんと広島から移住してきた睦さんのお料理ユニット)提供の食事を楽しみました。食後、施設内を散策。旧酒蔵の魅力を残しつつ、異文化も織り交ぜた空間に、感嘆の声が何度も上がっていました。



大正蔵の入り口で柿の絵と一緒に兄妹



大正蔵には昔の木樽が残る

天の真名井と本宮の泉



ホレルイスさんとベゴニヤさん



天の真名井で水を汲むハビエルさん

殆どの皆さんが初来日でしたが、エリーさんの企画で、大山さんの麓から始まるマニアックな日本旅に…。23日には天の真名井（弥生時代から生活用水として使われていた形跡がある）、25日には本宮の泉（一日3万トンの湧水量を誇る）、淀江の2か所の湧水地を訪ねました。いずれも観光客の居ない静寂の中で、「大山さんのおかげ」、約30年前の雪解け水が湧き出す自然の恵みに触れる機会となりました。天の真名井では湧水を汲んで帰り、宿で出すコーヒーやお茶、お鍋に利用しました。本宮の泉は紅葉がとても綺麗な時期で、清らかな水と紅葉で日本を感じてもらいました。



いつも手伝ってくれるウェイさん



鍋を囲んで乾杯！

宿では24日の夜、そして最終日の25日の朝に食事を提供しました。夜の食事は地元食材・畑の野菜を使った家庭料理、「鳥取和牛のすき焼き」と近隣の漁港で獲れた魚介類と自家製野菜の海鮮鍋。皆さんとても喜んで召し上がってくださいました。特に醤油・みりん・酒・砂糖で味付けしたすき焼きの中に入った「焼き豆腐」が大人気！食後は、男性含め皆で洗い物・皿拭きをしてくださいました。あつという間に片付け完了！翌朝の朝食は、日本の朝ごはん。天日干しのはでかけ米きぬむすめ、豆腐とネギの味噌汁、焼き魚やサラダ、おぼろ豆腐、板わかめ、大山ハムウィンナーなどを提供しました。

皆に喜ばれた食べ物？

大豆脱穀&餅つき



しめ縄を見せながら解説する山中さん



餅つきするアネさん

最終日25日11時から、ありがたい近所さん山中さんの全面協力の下、足踏み脱穀機と唐箕を使って、皆さんお気に入りの豆腐の原材料である大豆を脱穀してもらいました。その後、山中さんのしめ縄談義をエリーさんがスペイン語に通訳。そして、地元の皆さんにも手伝ってもらって餅つき開始。江戸の間でワイワイガヤガヤ丸めました。宿にはスペイン語が飛び交い、私（はい）と「グラシアス（ありがとう）」はお互いの母国語で言えるようになり、エリーさんの通訳のおかげで自由なく楽しくコミュニケーションを取ることが出来ました。

淀江の宿 今津田中家 Yodoe Inn...
 Javier Garcia-Alzorts
 5.0 stars (1 review)
 Yodoe's traditional Japanese house provided a truly unforgettable experience for our group of night travelers from Europe, America, and Japan. Her hospitality was exceptional, offering delicious, authentic meals and impeccable service. Yokoean went above and beyond, organizing amazing local experiences that immersed us in the culture. Every moment was thoughtful and enriching. We felt so welcomed and cared for - this stay was the highlight of our trip! Thank you, Yokoean, for everything! She went above and beyond. This gave us a truly unique taste of what it's like to do many of the traditional things in Japan, from mochi making to Japanese breakfast!

ハビエルさんの Google Map クチコミ評価

ヨーロッパ、アメリカ、日本から集まった8人のグループで伺いました。洋子さんと、彼女の経営される伝統的な日本家屋のお宿への滞在は、私達にとって一生思い出に残る経験となりました。彼女の本格的で美味しい日本食と素晴らしいおもてなしにはとても感動しました。

また地元の文化や伝統を学べる貴重な体験を企画してくださったり、餅つきや日本食の朝食など「本物」の日本文化を体験できるユニークな機会を頂き、とても興味深かったです。

ここに滞在出来て、彼女のおもてなしを受けたことが今回の旅で一番の思い出となりました。洋子さん、本当にありがとうございました。彼女は本当に素晴らしいホストです。

Elly (エリー) さんからのメッセージ

皆さん先週末帰りましたが、終始、米子が一番よかった、洋子さんのホスピタリティが素晴らしすぎたと言っていました。何から何までありがとうございました。洋子さんのところにみんなを連れて行って正解でした。貴重な体験の数々をありがとうございます！山中さんや皆さんにもよろしくお伝えください。

洋子の感想

宿を訪れる国内外の方との交流はとても楽しい。観光庁の高付加価値事業で「日本の紀元・神話の国」がテーマのこの地。日本の旅をこの地から始めて他の地域に足を延ばす旅も提供していきたい。

行程表

- 11月23日(土)
米子空港～美保関～酒蔵見学
～天の真名井～大正蔵食事会
- 11月24日(日)
各自で朝食～稲佐の浜～出雲大社～
松江城～武家屋敷～温泉 (or 買い物)
～夕食 (すき焼き&海鮮鍋)
- 11月25日(月)
日本の朝ごはん～大豆の脱穀～
しめ縄解説～餅つき～本宮の泉～
植田正治写真美術館～大山寺参道
～榎水高原～大山まきばみるくの里～
(沈む夕日に向かって)～米子駅
※18時台の特急やくも乗車、倉敷泊
※その後、東京へ

高付加価値なインバウンド観光地づくり

(一社)山陰インバウンド機構「山陰の手仕事に会う旅」造成事業にてモニターツアーが実施されました。この地で代々継承されてきた手仕事の美しさの通底にあるものを体感していただくために、手仕事の現場訪問だけでなく地域の特性や人々の精神性を知っていただくコンテンツも交えた3泊4日のツアーです。宿のオーナー洋子が専務理事を務めるBisuiDaisenは事業受託された(一社)Expeより、大山パートのコンテンツ造成を任せられ、普段体験することが出来ない護摩行などをツアーを組みこみました。



BisuiDaisen パートでガイドを務めた松田彩子さんの Facebook への投稿

10月中旬に、国の事業のインバウンドモニターツアーのガイドをさせていただく機会があり、そこで6000年続くデザイン的光を感じました。この事業は、旅行業を取得し、大山流域での日本に横たわる精神性を感じていただくジャーニーを提供されている(一社)BisuiDaisenの代表大原徹さんが、数年に渡り調整されていた観光庁の事業。そんな大事な機会に、私がガイドをするというチャンスをおいただきました。

参加者の方々からは、こんなコメントが。日本に50年以上暮らし、日本の文化や精神性について深く造形のあるイギリス人翻訳家兼エージェンツの方が、「あの住んでいる場所は素敵な所だね。『大山さんのおかげ』ってみんなが言う意味がわかったよ。」と言ってくれたり、アメリカで育った日系3世のテレビ局のプロデューサーをされている方は、「自分のオリジナルに立ち返ることができたよ。」

肌の色、目の色、お仕事、国籍などのバックグラウンドは関係なく、「Becca cause of Daisenisan」 「大山さんのおかげ」という6000年続くデザインは伝わることで改めて分かり、6000年前から多様なバックグラウンドを持つ人たちが重なり合うデザインが足元に広がっていたんだなって...と未だに感動が止まりません。6000年続にはやはり何らかの理由があって、その時空を超えて今につながる普遍的なモノ、それを紐解き伝えていく。今、それに触れることが、沢山の人のとつて救いになるでしょうし、かつてこの地が日本の表玄関で、大陸から人がなだれ込む人種のつぼであったように、「大山さんのおかげ」を通してまたこの地に新たな積層をつむぎ直せるのではないかと思います。今回のモニターツアーで、私の

ツアーの行程

- 1日目 鳥取空港⇒鳥取砂丘⇒大因州製紙協業組合⇒山根酒造⇒倉吉⇒山楽荘(護摩行・宿泊)
 - 2日目 大神山神社早朝参拝⇒甲川シャワークライミング⇒大正蔵(しし鍋)⇒淀江海岸⇒木谷沢溪谷⇒お宿野乃⇒季節料理湖岸
 - 3日目 小泉八雲記念館・旧居⇒堀川遊覧船⇒松江城⇒レストランろんじん⇒月照寺⇒美保館
 - 4日目 出西窯(工房見学とウェットハンドル手法体験、民藝のしゃぶしゃぶ)⇒出雲空港(振り返り)
- ※青字がBisuiDaisenパート

お得な特典たくさん！ 淀江の宿今津田中家 2024年度会員募集

年会費	継続会員	2,000円
	新規会員	3,000円

瓦版継続発行を応援して下さる会員の皆様を募集しています。お得な会員特典も！ご協力よろしくお願いたします。

会員特典

- 瓦版の送付 継続会員：瓦版13号～24号 新規会員：瓦版1号～24号
- お米1升(約1.5kg) プレゼント(きぬむすめ or もち米)
 - ・新米ご希望の方は2024年11月以降
 - ・お米は基本当宿にてお渡し(郵送料別途)
 - ・お米が不要の場合、淀江の宿 今津田中家の利用券1,000円分プレゼント
- 毎月1回 各種10%割引券(飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)
- 瓦版2周年イベント(2025年3月開催予定) 無料参加!



お申込みフォーム



※1月、2月は日替わり店長カフェをお休みします。「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQは4名以上でご予約を承ります(7時～21時)。詳細はWEBサイト等でご確認ください。

連載「淀江プロジェクト」物語 [第21話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第21話：妻木晩田（むきばんだ）遺跡と裏庭 BBQ（淀江プロジェクト第9弾1）



を含めた8名が長丁場となる工事を進めてくれており、洋子が中目8日に帰ったときには、洋室の塗装が完了し、デッキからトイレや離れの和室に行く入口、裏口からの登り口などの工事中だった。



- しょうきち（野崎将太）さん
- しゅう（大木 脩）さん
- 翔太郎（宮原翔太郎）さん
- やつだ（八田 公平）さん
- ハプッチ（羽瀨 正樹）さん
- 恭ちゃん（長久保 恭平）さん

以外に、新たな2名

- ★大阪から家具職人の
- ひぐっちゃん（樋口 侑美）さん
- ★京都から
- 電気工事士の資格を持つ
- らいじろう（武藤 頼次郎）さん

洋子は、前年の11月から中国自動車道の西宮北インター近くにあるK社の大掛かりな業務改善の事に携わっており、この期間中もK社に5日、尼崎のE社に1日、大阪市のM社に1日と訪問サポート予定が続いていたため、スタートはプロジェクトのメンバーに任せて、中日の日曜日と最終日前日の水曜日に淀江に帰ることにした。今回の淀江プロジェクト第9弾は、

引越し前の仕上げプロジェクト！

洋子とその娘萌々子が引越す予定の2か月前、2020年3月4日〜12日、9日間の長丁場で淀江プロジェクト第9弾を実施。寝室にする予定の洋室やキッチンを仕上げることとなった。

この地域について学ぶフィールドワーク

プロジェクト中日の8日に姐さん（サハラクミコ）さんと米子に興味のある「ネコ」さんと洋子3人で米子に向かった。集合場所は「むきばんだ史跡公園」。1997年2月に鳥取県が誘致した民間のゴルフ場建設工事に先立つ発掘調査で見つかった「妻木晩田遺跡」のある場所、淀江プロジェクトに参加して来ていたメンバーや、大阪からその日出発して駆けつけたしょうきちさんの友人4人も一緒に合流した。

妻木晩田遺跡の会議室で米子出身の考古学者佐古和枝さん（関西外国語大学教授）の講義が始まった。しょうきちさんが佐古和枝さんの妹横島桂子さん（神戸在住）の娘江梨佳さんと知り合いだったため、実現した勉強会だった。

佐古さんの貴重な講義の後には、佐古さんにご案内いただきながら、遺跡を巡る。その後、近くの上淀白鳳の丘展示館や上淀廃寺跡などにも回り、この地の弥生時代の繁栄やずっと続いてきた歴史を皆で体感した。上淀白鳳の丘展示館には、母屋の女間に飾られた洋子の母景子が書いた油絵「石馬」のレプリカがあり、皆で盛り上がる。本物は近くの天神垣神社の倉庫に保管してあるということだった。

地域のフィールドワークをした後、買い物に行き、プロジェクトで整備して新たに出来たデッキのある裏庭で、初めてBBQをすることにして、準備を進める。

BBQには輝ちゃん（吉田輝子）さん、あつこ（広瀬あつこ）さん、もりさと（森田悟史）さん、ゆつてい（河津優平）さん、もりさとさんが連れて来てくれた移住して活躍している若いお二人大山町のマシー（佐々木正志）さん、南部町でゲストハウスでま里を運営するかなこ（井上加奈子）さんなども加わり、その夜は賑やかに遅くまで盛り上がった。

BBQパーティのできる素敵な空間が出来たことに感謝し、これからの活用を楽しみにしながら、洋子は翌日9日の早朝に淀江を出発し、西宮北インター近くのK社に向かって車を走らせた。この後に起こる驚愕の出来事をその時はまだ知る由も無かった。

作者・田中 洋子

㈱ウオリス代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてシェアリングし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語

「第21話」



1 第二十二話に続く



淀江の宿
今津田中家
=IMAZU-TANAKA-YA=



ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家
〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1
TEL : 0859-30-3889
www.imazutanakaya.com



今後はLINEを始め各種SNSにて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE公式アカウント
お店のポイントが貯まる！

